事業所名：　放課後等デイサービス事業所　ぱぐ　　支援プログラム　　作成日：2025年 2月 1日

法人（事業所）理念	（法人理念　）①利用者ひとりひとりの人格を尊重し、個性・特性・能力を大切にしながら、乙訓福祉会各機関の特色を生かし、あらゆる障害をもつ方の「生きる力」の獲得をめざします。 ノーマライゼーションの理念に基づき、地域の方々や団体等と協調しながら「共に働き、共に暮らす」地域福祉の実践をめざします。 利用者の意思と人格を尊重したサービスの提供を心がけ、地域とのつながりを重視しながら、互いに認め合い育ち合う場所づくりをめざします。 利用者の自己選択・自己決定を尊重することを基本に、個別性に留意しながら、その人らしい自立の在り方と社会参加を促進する事業を行います。	②（事業所理念）利 利
支援方針	（大切にしたいこと）　・食事、排泄、着脱衣、生活面での準備や片付け等が、自ら行えるように必要な支援を行います。 ・一人ひとりに遊び等をとおして、運動機能や感覚、手指の発達を促していきます。 ・周りのお友だちや大人、物への関心や興味が持てるようになり、生活を広げていけるようにします。 ・お友だちとの関係づくりの中でルール（順番を守る、交代する、待つ等）が学べるようにします。	
営業時間	平日　9時30分　から　18時30分まで　長 期休暇期間　8時00分　から　17時00分まで	送迎実施の有無：送迎あり

		支援内容
本人支援	健康・生活	・家族や関係機関との情報共有を図り、来所時の本人の健康状態等を把握し、必要に応じた支援を行います。 ・事業所内での活動や過ごしを通して、基本的な日常生活動作の習得につながるよう支援します。
	運動・感覚	・個々の障がいに配慮した制作及び創作活動を提供し、指先や手、腕を意識して取り組めるよう支援します。 ・音楽やリズム遊びを通して、身体を動かす楽しさを伝えていきます。（個々に応じて、ストレッチやマッサージを行い、身体のリラックスを図ります。）
	認知・行動	・当日の活動（スケジュール等）を分かりやすく視覚化し、自ら気持ちを切り替えて行動出来るように支援します。 ・家族からの要望等を聞き取り、個別課題（活動）を提供し、本人の成長や発達を促します。
	言語・コミュニケーション	・友達同士の信頼関係が広がるよう、職員が介在し支援します。 ・みんなを代表しての挨拶や役割を担う機会を設け、経験してやり遂げることでの自信に繋げていきます。 ・自分の気持ちや思いを表出する手段広がり、身につくよう支援します。
	人間関係・社会性	・全体（集団）活動を通して、順番をを守る、交代する、待つ等のルール守り行動出来るように支援します。 ・散歩等の外出時には「交通ルール」、買い物学習時には「お金の使い方」を学び、身につけていけるよう支援します。
家族支援		・年１回保護者懇親会を企画実施し、保護者同士の交流及び職員との親睦を図ります。 ・障害に関することや、家庭での悩み等の相談援助を行います。
移行支援		・家族や関係機関との情報共有を行い、連携を図ります。
地域支援・地域連携		・近隣の医療機関より協力（連携）いただき、緊急時の対応に備えます。 ・圏域の放課後等デイサービス事業所と連携し、様々な情報の共有を図っていきます。
職員の質の向上		・法人内において月１回、様々な内容の研修（新人・中堅・管理・障害関係等）を実施し、職員一人ひとりのスキルアップを目指します。
主な行事等		・お誕生日会や季節行事（お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、お正月等）の開催実施。 ・法人内事業所（生活介護事業所）との交流会。